

指定校番号	30035	学級活動	<input type="radio"/> 生徒会活動	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------------------------	------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立七尾中学校	校長	藤井 哲也	生徒指導主事	渡邊 悦久
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『あいさつ運動』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「主体性・積極性」	2	「自己理解・自らの自信」	3

取組のねらい『キーワード 自主性』

生徒会の学級委員会で自分たちの挨拶の課題を解決するために後述するこれらをねらって主体的に取り組んでいる。

- ・あいさつの活性化を目指すため。
 - ・正しい挨拶とは何か、目指す挨拶の姿とは何か、理解してもらうために実施する。
 - ・目指す挨拶の姿①～⑥を達成するために行う。
- 〈①笑顔で②大きな声で③元気よく④語尾を延ばさずはっきりと⑤立ち止まって⑥会釈をして〉

取組の具体的内容『キーワード 全員で』

生徒会の学級委員会で取り組み内容の把握し学級への情報提供をする。

日 程：5月6月1年生，9月10月3年生，11月12月2年生

場 所：体育館前等 1回的人数：20人程度 時間：7：45～8：10（15分間）

参加者：全学年（学級単位で実施し各学級出席番号の前後で2日に渡って実施する）

あくまでもボランティアですが、学級ごとに呼びかけをして実施する。

取組の課題・創意工夫『キーワード 当たり前のことを当たり前以上に』

平成30年度の1学期の学校評価アンケートでは、95.5%と生徒の自己評価は高いが、教職員の生徒の挨拶に対する評価は、63.1%と教職員の評価と差がある。そのため、本校の学校経営方針の七つの宣言に含まれる「当たり前のことを当たり前以上に」を徹底して行うために生徒会から提案して実施した。

取組の成果（効果）『キーワード 正しい挨拶の定着』

取組後アンケート調査を実施し、後述のとおりとなった。「正しい、目指すべき挨拶の姿が分かった」肯定的な評価をした生徒95.5%「また参加したい」肯定的な評価をした生徒88.6%と今回の挨拶運動が一定程度の成果を上げたといえる。今後、教職員の評価を実施し生徒と教職員の評価の差が縮まることを期待する。（2月実施）

今後の展開『キーワード 七尾中ABC』

七尾中ABCとは、「当たり前のことをびっくりするくらいちゃんとする」です。生徒自身が挨拶の重要性を理解し、グローバル化社会でも通用する挨拶を身に付けるためにコミュニケーションの基本である挨拶ができるよう生徒会執行部の力を活用して自ら取組みを強化していきたい。

他教科との関わり『キーワード 学校生活, 教科を横断した取組』

挨拶は、道徳の価値項目でも、1-(1),(5) 2-(1),(2) 3-(2),(3),(4)等と関連があり多岐にわたっている。また、社会（学校）生活を送る上でも相手と関わる力が必要であり、高等学校では就職活動をする上でも重要視されている。そのため、授業の挨拶、生徒間の挨拶、異年齢の挨拶、教員への挨拶や様々な場面で適切な挨拶ができるよう全ての教科で授業規律の一つとして指導を行っている。